



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月9日

上場会社名 株式会社 星医療酸器 上場取引所 東
 コード番号 7634 URL http://www.hosi.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)星 幸男
 問合せ先責任者 (役職名)財務部長 (氏名)青木 経一郎 (TEL)03(3899)2101
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日~平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	6,872	6.9	802	6.4	825	7.6	504	9.6
26年3月期第3四半期	6,430	2.2	754	△4.3	766	△4.8	459	△4.7

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 631百万円(33.1%) 26年3月期第3四半期 474百万円(1.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	152.60	—
26年3月期第3四半期	139.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	12,960	9,600	72.7
26年3月期	12,216	9,109	73.2

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 9,419百万円 26年3月期 8,939百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00
27年3月期	—	20.00	—		
27年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期の期末配当の内訳 普通配当20円00銭 記念配当10円00銭(創立40周年記念配当)

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日~平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,400	7.4	1,160	9.5	1,180	9.1	710	6.0	214.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社 (社名)、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年3月期3Q	3,601,681株	26年3月期	3,601,681株
27年3月期3Q	298,279株	26年3月期	298,250株
27年3月期3Q	3,303,423株	26年3月期3Q	3,303,641株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策の効果により株価の上昇、円高の是正が進んだことを受け、公共投資や輸出関連企業の業績が回復しつつあり、緩やかではありますが景況感が改善を見せてまいりました。

当社グループを取巻く環境は、高齢者人口の増加を背景にヘルスケアのニーズが拡大し、その対応を期待されておりますが、医療保険や介護保険の改正・改定等、政策サイドの意向が今後も大きく影響するものと思われれます。また、医療及び介護福祉へのサービスの多様化と経営の効率化が求められ、引続き厳しいものとなっております。

このような環境のもと、当社グループは、いち早く在宅医療・介護等の領域に力を注ぎ、成長戦略における重要な柱として、「病院完結型」から「地域完結型」への転換に即した柔軟な経営並びに社会貢献を念頭に、在宅医療や介護福祉など多岐にわたる分野において、営業力の強化に努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は6,872百万円（前年同四半期比6.9%増）と増収を確保し、利益面でも、連結営業利益は802百万円（前年同四半期比6.4%増）、連結経常利益は825百万円（前年同四半期比7.6%増）、連結四半期純利益は504百万円（前年同四半期比9.6%増）と増益となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

①医療用ガス関連事業

当部門は、薬剤や医療機器の進歩、並びに患者様の身体的負担を軽減する医療技術の浸透などにより、術後のケアが短期間となり、従来に比べて入院日数が減少していることから、医療用ガスの消費量は鈍化の傾向にあります。

このような環境を踏まえ、医療用ガスの生産性と収益性のバランスを考慮し、新規取引先の開拓と既存取引先への高付加価値サービスの提供に注力した結果、売上高は2,523百万円（前年同四半期比1.8%増）、セグメント利益は303百万円（前年同四半期比12.6%増）となりました。

②在宅医療関連事業

当部門は、当社グループが、以前より重点的に注力しており、当社の収益源の要の一つとなっております。HOT（在宅酸素療法）等の診療報酬改定は2年毎に行われますが、2010年以降は報酬の改定がなく、2016年度の診療報酬改定でダウンが予想されております。

このような状況を踏まえ、お客様からの信頼を獲得し、継続的な成長を図ってまいりました。また、CPAP（持続陽圧呼吸療法）と人工呼吸器のレンタル台数も好調に推移した結果、売上高は2,617百万円（前年同四半期比5.7%増）、セグメント利益は450百万円（前年同四半期比9.7%増）となりました。

③医療用ガス設備工事関連事業

当部門は、メンテナンス・工事の両部門において、医療機関の耐震補強工事及び老朽化による増改築工事の需要が継続しており、一層の営業努力を継続したことなどから、売上高は751百万円（前年同四半期比35.6%増）、セグメント利益は58百万円（前年同四半期比20.1%増）となりました。

④介護福祉関連事業

当部門は、在宅並びに医療機関や施設等へ取扱商品の販売やレンタルを行っております。販売部門につきましては、需要の取込みが着着き、大型物件の販売は減少しましたが、取扱商品のラインナップを増やし幅広く販売することに努め、レンタル部門は引続き堅調な推移となっております。

また、今後の需要増大の観点から、訪問看護・居宅介護支援事業として、平成26年8月に「星医療酸器訪問看護・リハビリステーション巣鴨」（東京都文京区）を開設し、顧客ニーズへの対応と事業の拡大に努めました。

これらの結果、売上高は332百万円（前年同四半期比13.5%増）と増収でしたが、利益面では商品構成の変化による粗利率の低下や新規事業の先行投資負担などから、セグメント損失21百万円（前年同四半期セグメント利益33百万円）となりました。

⑤施設介護関連事業

有料老人ホーム「ライフステージ阿佐ヶ谷」（東京都杉並区）はご入居者様、ご家族様に「安心」と「安全」を提供し、他施設との差別化を図るため、継続的な営業努力を行っております。

また、高齢化社会への対応として、通所介護施設「あしつよ・文京」（東京都文京区）、「あしつよ 巣鴨」（東京都豊島区）に引続き、平成26年12月に「あしつよ 王子」（東京都北区）を開設し、事業の拡大に努めました。

これらの結果、売上高は211百万円（前年同四半期比12.1%増）と増収でしたが、利益面ではセグメント損失51百万円（前年同四半期セグメント損失39百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は12,960百万円（前連結会計年度末比743百万円増）となりました。これは、現金及び預金が281百万円、受取手形及び売掛金が157百万円、有形固定資産が127百万円、投資有価証券が107百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は3,359百万円（前連結会計年度末比251百万円増）となりました。これは、支払手形及び買掛金が249百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は9,600百万円（前連結会計年度末比491百万円増）となりました。これは、四半期純利益の計上や配当金の支払い等により利益剰余金が363百万円、その他有価証券評価差額金が120百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成26年5月12日発表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法についても、平均残存勤務期間に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が39,468千円増加し、利益剰余金が24,303千円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ2,877千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,874,716	6,156,084
受取手形及び売掛金	1,613,729	1,771,640
たな卸資産	106,388	187,896
繰延税金資産	77,160	77,282
その他	79,634	97,947
貸倒引当金	△5,343	△5,969
流動資産合計	7,746,286	8,284,882
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	608,219	581,384
土地	1,870,975	1,870,975
その他(純額)	703,669	857,541
有形固定資産合計	3,182,864	3,309,901
無形固定資産	72,413	50,860
投資その他の資産		
投資有価証券	593,406	701,299
その他	623,222	615,150
貸倒引当金	△1,660	△1,682
投資その他の資産合計	1,214,968	1,314,768
固定資産合計	4,470,246	4,675,530
資産合計	12,216,533	12,960,412
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,418,084	1,668,048
1年内返済予定の長期借入金	117,683	29,456
未払法人税等	210,117	114,324
賞与引当金	86,700	55,300
その他	616,547	727,412
流動負債合計	2,449,132	2,594,541
固定負債		
役員退職慰労引当金	416,340	456,240
長期預り保証金	12,151	7,557
その他	229,866	301,146
固定負債合計	658,358	764,944
負債合計	3,107,491	3,359,486

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,180	436,180
資本剰余金	513,708	513,708
利益剰余金	8,420,756	8,784,002
自己株式	△510,742	△510,823
株主資本合計	8,859,902	9,223,066
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	49,563	170,202
退職給付に係る調整累計額	30,064	26,056
その他の包括利益累計額合計	79,627	196,259
少数株主持分	169,511	181,600
純資産合計	9,109,041	9,600,926
負債純資産合計	12,216,533	12,960,412

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	6,430,228	6,872,968
売上原価	3,013,591	3,355,101
売上総利益	3,416,637	3,517,866
販売費及び一般管理費	2,662,568	2,715,690
営業利益	754,068	802,176
営業外収益		
受取利息	3,083	770
受取配当金	8,503	7,923
受取保険金	-	8,464
その他	5,554	8,358
営業外収益合計	17,141	25,515
営業外費用		
支払利息	4,743	2,567
その他	0	64
営業外費用合計	4,743	2,631
経常利益	766,466	825,059
特別利益		
固定資産売却益	3,404	199
投資有価証券売却益	-	2,721
特別利益合計	3,404	2,921
特別損失		
固定資産除却損	241	262
ゴルフ会員権評価損	-	4,200
特別損失合計	241	4,462
税金等調整前四半期純利益	769,630	823,519
法人税等	306,263	314,555
少数株主損益調整前四半期純利益	463,366	508,964
少数株主利益	3,578	4,849
四半期純利益	459,787	504,114

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	463,366	508,964
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,323	126,846
退職給付に係る調整額	-	△3,979
その他の包括利益合計	11,323	122,866
四半期包括利益	474,689	631,831
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	471,569	620,746
少数株主に係る四半期包括利益	3,120	11,085

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	2,479,123	2,475,915	553,921	293,324	188,425	5,990,710	439,518	6,430,228
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	79,276	—	—	79,276	—	79,276
計	2,479,123	2,475,915	633,197	293,324	188,425	6,069,986	439,518	6,509,504
セグメント利益 又は損失(△)	269,911	411,075	48,639	33,129	△39,374	723,380	48,036	771,416

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	723,380
「その他」の区分の利益	48,036
セグメント間取引の消去	△17,347
四半期連結損益計算書の営業利益	754,068

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	2,523,843	2,617,894	751,270	332,853	211,144	6,437,005	435,962	6,872,968
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	55,651	—	—	55,651	—	55,651
計	2,523,843	2,617,894	806,921	332,853	211,144	6,492,656	435,962	6,928,619
セグメント利益 又は損失(△)	303,878	450,962	58,394	△21,235	△51,790	740,210	67,914	808,124

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	740,210
「その他」の区分の利益	67,914
セグメント間取引の消去	△5,948
四半期連結損益計算書の営業利益	802,176

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、平成27年1月13日開催の取締役会において、当社の完全子会社である株式会社星エンジニアリングを吸収合併することを決議し、合併契約を締結いたしました。

1. 合併の目的

本合併は、当社グループの業務運営の効率化及び円滑化の一環として、経営資源の集約化を図り市場の変化や顧客ニーズに適切かつ迅速に対応出来る体制整備と、併せて当社の知名度を活用した効果的な営業展開を行うことを目的として、当社が株式会社星エンジニアリングを吸収合併することといたしました。

2. 合併の要旨

(1) 合併の日程

合併契約承認取締役会	平成27年1月13日
合併契約締結	平成27年1月13日
合併予定日(効力発生日)	平成27年4月1日

(注) 本合併は、当社においては会社法第796条第3項に定める簡易合併、株式会社星エンジニアリングにおいては同法第784条第1項に定める略式合併に該当するため、当社および株式会社星エンジニアリングにおいて合併契約に関する株主総会の承認を得ることなく行うものです。

(2) 合併方式

当社を存続会社とする吸収合併方式で、株式会社星エンジニアリングは解散いたします。

(3) 合併に係る割当ての内容

当社の完全子会社の吸収合併のため、本合併による新株式の発行及び資本金の増加並びに合併交付金の支払いはありません。

(4) 消滅会社の新株予約権および新株予約権付社債に関する取扱い

株式会社星エンジニアリングは、新株予約権および新株予約権付社債を発行しておりません。

3. 合併当事会社の概要

商号	株式会社星医療酸器 (吸収合併存続会社) (平成26年3月31日現在)	株式会社星エンジニアリング (吸収合併消滅会社) (平成26年3月31日現在)
本店所在地	東京都足立区入谷七丁目11番18号	千葉県千葉市稲毛区山王町305番地10
代表者	代表取締役社長 星 幸男	代表取締役 榎本 正美
事業内容	医療用ガスの製造販売	医療用ガス配管設備工事
資本金	436百万円	30百万円

直前事業年度の財政状態及び経営成績

商号	株式会社星医療酸器 (連結)	株式会社星エンジニアリング (個別)
純資産	9,109百万円	716百万円
総資産	12,216百万円	820百万円
売上高	8,752百万円	703百万円
当期純利益	669百万円	47百万円

4. 合併後の状況

本合併における、当社の商号、所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金及び決算期についての変更はありません。

5. 実施する会計処理の概要

本合併は、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日 公表分)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日 公表分)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行う予定であります。